

変わる。



気候危機

いま大田区での
取り組みは

日時 **9月9日(土) 14~16時** (受付13時半~)

会場 **TIME SHARING 平和島「会議室A」**

<https://www.instabase.jp/space/2891633817>

住所：〒143-0016 東京都大田区大森北6-12-17 (京急平和島駅下車2分)

<https://goo.gl/maps/PknxqRxG6dgxWfKY7>



Googleマップへ

Zoom Zoom参加でお申込みいただいた方にアドレスをお送りいたします。

講師 **歌川学**さん (産業技術総合研究所 主任研究員)

東北大学大学院工学研究科機械工学専攻博士前期課程修了。博士(工学)。著書に「スマート省エネ」(東洋書店)、『炭素排出ゼロ時代の地域散型エネルギーシステム』(日本評論社)、『エネルギー自立と持続可能な地域づくり』(昭和堂)など。専門：温暖化エネルギー対策の技術評価・優先順位づけ・シナリオ研究。今回大田区の分析をしていただきます。

参加費 **600円 / 学生300円 / 定員43名**

受付は先着順となります。空席があれば当日会場受付も可能です。

申し込み：<https://forms.gle/c5sfFqNDBJe63WGZ7>

お申し込みは
こちらより



地球
沸騰の
時代が
到来した

●ここ数年の日本での豪雨災害は10年に一度が毎年起こるといのが実感です。猛暑も過去最高を記録し続けヨーロッパや中国では気温が40度50度になったと伝えられ、最近国連のグテーレス事務総長は「地球沸騰の時代が到来した」と述べています。

●IPCC(気候変動に関する政府間パネル)の報告では「パリ協定」の長期目標である1.5度を達成するためには、温室効果ガスの排出量を「2035年までに60%削減する事」が必要(2019年比)と述べています。日本は大幅な目標上乗せが求められています。

●現在、各国が掲げているCO2削減の排出目標は、温暖化による深刻な影響を防ぐための「世界平均温度の上昇を1.5度以下に抑える」には、ほど遠いものと指摘されています。今の世代の取り組みが人類や地球の未来を左右するという自覚が求められています。

●気候危機が世界や日本ではどのようになっているのか。大田区の中で私たちは何ができるのか。地域でそれぞれがどう対応する事が大事なのか考え行動することが求められています。

●大田区では現在、2040年を想定する「大田区基本構想」の改定作業が進められています。また、大田区の環境保全に関する施策を総合的・計画的に推進するための「大田区環境アクションプラン」が改訂作業中です。

●演会を機会に、環境危機への理解が一層進むと同時に、区政への区民の声を提案できるような形になることを期待します。

主催 **立憲パートナーズ大田の会**

ボトムアップ・草の根民主政治を目指し、大田区で立憲パートナーズを中心に集まった市民グループ。迷走し混乱を極める政治に市民の声を届け、政治を変えるための地域活動に取り組んでいます。

●情報を知りたい方は → <https://cpmota.com/> ●連絡を取りたい方は → info@cpmota.com

●ボランティア・メンバーを募集しています。

●チラシを編集・作製したり配布する ●動画などを撮影編集したり発信する ●学習会・集会などを企画運営する。

ご興味ある方は連絡アドレスまでメールをお送りください。